

令和3年11月22日(月)

## 全国高専プログラミングコンテストで ワン・ツー・フィニッシュ達成！

鳥羽商船高等専門学校(鳥羽商船高専)の学生チームが、第32回全国高等専門学校プログラミングコンテストの課題部門で最優秀賞・優秀賞を受賞され、中村市長へ報告に来ていただきました。



同コンテストは高専生のプログラミング技術の向上を目的に開催され、同校で最優秀賞・優秀賞のダブル受賞は今回が初めてです。

最優秀賞を受賞したアプリ「学魚養食」は、類似給餌体験機能や魚体サイズ、へい死を確認できる機能などを使用することで、小中学生に養殖業のおもしろさを伝えることを目的に開発されました。

優秀賞を受賞したアプリ「SEN-KEN」は、バレーボールやバドミントンなどのコースをクイズ形式で解くことで、レシーバーのコース予測能力の向上や撮影した動画からアタッカーのフォームを分析することで、アタッカーの癖を把握することを目的に開発されました。

最優秀賞を受賞した情報機械システム工学科3年の正住将太さんは「漁業の衰退や人手不足の解消に今回受賞したアプリを使用してもらい、小中学生に漁業の魅力を伝えたい」と思いを話し、中村市長は「鳥羽市はさまざまな実験をする場としてうってつけの場所なのでぜひ活用してほしい」と話しました。